

## 使用上の注意改訂のお知らせ

経口血糖降下剤

# 日本薬局方 **ブホルミン塩酸塩錠** **ジベトス錠 50mg**

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社  
富山市総曲輪 1 丁目 6 番 21

この度、上記製品につきまして「使用上の注意」の一部を改訂（下線部分）いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数が必要ですので、今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容> (            : 自主改訂,            : 削除)

改 訂 後			現 行		
<b>3. 相互作用</b> (2) 血糖降下作用を増強する薬剤			<b>3. 相互作用</b> (2) 血糖降下作用を増強する薬剤		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
インスリン製剤 スルホニルウレア系 薬剤 速効型インスリン分 泌促進剤 ナテグリニド等 <u>α-グルコシダーゼ</u> 阻害剤 アカルボース, ボグリボース, ミグリトール チアゾリジン系薬剤 ピオグリタゾン 塩酸塩 DPP-4 阻害剤 シタグリブチン リン酸塩水和物 等 GLP-1 <u>受容体作動薬</u> リラグルチド等 SGLT2 阻害剤 イブラグリフロ ジン L-プロリン 等	血糖降下作用の増強 による低血糖症状 (脱力感, 高度の空 腹感, 発汗, 動悸, 振戦, 頭痛, 知覚異 常, 不安, 興奮, 神 経過敏, 集中力低下, 精神障害, 意識障害, 痙攣等) が起こること がある。 併用する場合には, 血糖値その他患者の 状態を十分観察しな がら投与すること。 特に, β-遮断剤と併 用する場合にはプロ プラノロール等の非 選択性薬剤は避ける ことが望ましい。 低血糖症状が認めら れた場合にはショ糖 を投与し, α-グルコ シダーゼ阻害剤 (ア カルボース, ボグリ ボース, ミグリトール) との併用により 低血糖症状が認めら れた場合にはブドウ 糖を投与すること。	これらの薬剤 の血糖降下作 用による。	インスリン製剤 スルホニルウレア系 薬剤 速効型インスリン分 泌促進剤 ナテグリニド等 α-グルコシダーゼ 阻害剤 アカルボース, ボグリボース, ミグリトール チアゾリジン系薬剤 ピオグリタゾン 塩酸塩 DPP-4 阻害剤 シタグリブチン リン酸塩水和物 等 GLP-1 アナログ リラグルチド等 SGLT2 阻害剤 イブラグリフロ ジン L-プロリン 等	血糖降下作用の増強 による低血糖症状 (脱力感, 高度の空 腹感, 発汗, 動悸, 振戦, 頭痛, 知覚異 常, 不安, 興奮, 神 経過敏, 集中力低下, 精神障害, 意識障害, 痙攣等) が起こること がある。 併用する場合には, 血糖値その他患者の 状態を十分観察しな がら投与すること。 特に, β-遮断剤と併 用する場合にはプロ プラノロール等の非 選択性薬剤は避ける ことが望ましい。 低血糖症状が認めら れた場合にはショ糖 を投与し, α-グルコ シダーゼ阻害剤 (ア カルボース, ボグリ ボース, ミグリトール) との併用により 低血糖症状が認めら れた場合にはブドウ 糖を投与すること。	これらの薬剤 の血糖降下作 用による。
蛋白同化ステロイ ド		(現行どおり)	蛋白同化ステロイ ド		(略)
		削除→	<u>グアナチジン</u>		機序不明。 組織カテコー ルアミン類枯 渇の関与等が 考えられる。
(現行どおり)			(略)		

\* 改訂内容につきましては DSU No.270 に掲載の予定です。

<改訂理由>

- ・ 「相互作用」の「併用注意」の項に記載しておりましたグアネチジン硫酸塩製剤（商品名：イスメリン）につきましては、本邦では販売中止となっていることから、記載を削除いたしました。
- ・ 「相互作用」の「併用注意」の項に記載しておりました「GLP - 1 アナログ」を、類薬（メトホルミン塩酸塩）の使用上の注意の記載に合わせるため、「GLP - 1 受容体作動薬」に記載整備いたしました。

なお、改訂後の添付文書は日医工株式会社ホームページ <https://www.nichiiko.co.jp/medicine/search>  
及び医薬品医療機器総合機構ホームページ <http://www.pmda.go.jp/> に掲載いたします。